

取扱説明書

電解水素浴システム (+24時間風呂)

Osius H
CKE-320LTH

このたびは、電解水素浴システム「Osius H」をお買い上げいただきありがとうございます。
末長く安全にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と設置工事説明書とともに大切に保管してください。

- ◆保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」などの記入を確かめてお受け取りください。
- ◆設置工事説明書に従った正しい工事を行ってください。
- ◆この説明書に出てくる重要警告事項の部分は製品を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。
- ◆正しい設置をされなかった場合、また正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。

保証書別添付

1

安全上のご注意

この注意事項は、お客様に製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



記号は、

警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。

(例)  一般的な注意



記号は、

禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

(例)  一般的な使用禁止



記号は、

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください)が描かれています。

(例)  一般的な指示  必ずアースを接続せよ

お読みになったあとは、お使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

感電・火災の恐れあり		感電・火災の恐れあり		
	<p>●お客様ご自身で工事はしない。 本体設置および移設についてはお買い求めの販売店に依頼してください。</p>	<p>●漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。</p>		
	<p>●電源コンセントは浴室内および屋外コンセントを使用しない。</p>	<p>●水道管、ガス管等にアース線を接続しない。 ご使用前にアース線の接続を確認してください。</p>		
	<p>●工事後のお客様ご自身による変更工事はしない。</p>		<p>●本体を浴槽中に落としたときは、浴水にさわらない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてから本体を引き上げ、販売店にご相談ください。落とした本体は絶対に使用しないでください。</p>	
	<p>●電源コンセントは、他の器具と併用しない。 定格15A以上の電源コンセントに単独で直接、接続してください。延長コードや三つ又コンセントなどは使用しないでください。</p>		<p>●操作パネルを浴水に落とさない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご相談ください。</p>	
	<p>●漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。 漏電保護プラグは、コードを下向きにして、確実に電源コンセントに差し込んでください。</p>	<p>●本体を分解・改造・修理しない。</p>		
	<p>●差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。</p>	<p>●アース線が取り付けられていない場合は、使用しない。 コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。</p>		
	<p>●漏電保護プラグや電源コンセントに、湿気やほこりを近づけない。 ときどき、漏電保護プラグや電源コンセントを乾いた布で拭いてください。</p>			
	<p>●本体に異常が発見された場合は使用しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店へご連絡ください。</p>			
	<p>●濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。</p>			



警告



注意



ケガなどの恐れあり	
	<ul style="list-style-type: none"> ●風呂ふたの上に手をついたり、乗ったりしない。 とくに、小さなお子様は、浴槽に落ちる恐れがあります。 ●泡出しユニットの吸込口に手や足・髪の毛を近づけない。 吸い込まれる恐れがあります。 ●長い髪の毛は束ねるなどし入水口に髪の毛が吸い込まれないように注意してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。 ●入浴中にトップフィルターを取り外さない。 ●泡出しユニットと本体に通じるホースを外さないでください。また、ホース部だけを固定しない。
	<ul style="list-style-type: none"> ●浴水に潜らない。 髪の毛が吸い込まれ、溺れる恐れがあります。 ●小さなお子様だけでの入浴はさせない。
	<ul style="list-style-type: none"> ●湯かげんを確認せずに入浴しない。 やけどの恐れがあります。

感電・火災の恐れあり	
	<ul style="list-style-type: none"> ●浴水を確認しないで追いきしない。 浴水が満たされていることを確認してください。 ●2日以上留守にする場合は、本体を運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。 ●雷が鳴っている場合は、運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。雷通過後は、運転方法 (P.12参照) に従い運転を再開してください。 ●長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所 (浴室等) に放置しない。 ●本体に直接、水やお湯をかけない。
	<ul style="list-style-type: none"> ●漏電保護プラグは、浴室や水がかかるところに設置しない、水をかけない。 ●操作パネルに直接、水やお湯をかけない。

ケガなどの恐れあり	
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の上や風呂ふたの上に乗ったり、モノを置いたり、押したり引っ張ったりしない。
	<p>本機を使用中は1日中浴槽に水が満たされています。とくに、小さなお子様の転落にはくれぐれもご注意ください。</p>



注意

ケガなどの恐れあり	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴水を飲まない。 細菌などで疾病を起こす原因となることがあります。 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚に異常(湿疹・かゆみなど)を感じた場合や傷・化膿症のある方、その他疾患がある方は使用しない。 専門医に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 紫外線ランプの光を直視しない。
浴槽・浴室に影響あり	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽の材質を確認せずに、本機を設置しない。 ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には、浴水を長期にわたり貯めて継続使用すると、浴槽の表面に荒れ・膨れ・変色などが生じる場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽の金属部にステンレス製の部品以外使わない。 浴槽に使われている排水口やチェーンなどの金属部は水質によりメッキがはがれてサビることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室内に湿気を貯めない。 カビの原因になりますので換気をしっかりと行ってください。
体調をくずす恐れあり	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 体調がすぐれないときは、泡出し運転や泡風呂、ジェットバスを、使用しない。(P.13参照) 気分が悪くなる。または体調をくずす恐れがあります。医師の治療を受けている方、極度に身体が弱っている方や乳幼児は使用を避けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 気泡を目や耳に直接当てない。また、噴流を身体と同じ部分に当て続けたい。 炎症やかゆみなどを起こす恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴水をシャワーや打たせ湯などに使用しない。 細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 入浴前に浴水でかけ湯をし、身体をよく洗ってから入浴する。 身体に付着した土ぼこりやドロ汚れ、油、塗り薬等の薬品は浄化に悪影響を与えますので十分に洗い落としてください。また、身体に付着している菌を浴槽に持ち込むと、菌が繁殖して菌による疾病を起こす原因となることがありますので注意してください。 かけ湯は身体の汚れを落とすことと、浴槽内のお湯の入れ替えを促進するために重要です。浴槽内のお湯が長期間入れ替わらないと、菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因となることがありますので注意してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日常のお手入れ」(P.20参照)に従って、正しく手入れを行う。 故障の原因や細菌が増える恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽にタオルを入れない。 お湯が汚れたり菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴水を熱帯魚や金魚等の飼育用の水として使用しない。 環境が変わり死ぬ場合があります。 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機は一般家庭用以外では使用しない。
故障の原因あり	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽にタオルを入れない。 タオルが入水口に詰まり故障の原因となることがあります。

◆ 快適にお使いいただくために

◆ 身体を洗った後のかけ湯には、浴水を使ってください。

浴水が減った分、足し湯を行うことにより、浴水の交換を促すこととなります。

◆ 本体は、シンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

◆ 水道水を使用してください。

井戸水や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

◆ 砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので取り除いてください。

◆ 入浴剤、石鹸、シャンプー、ゆず、薬草などを浴槽に入れないでください。

本体や浄化に悪影響を及ぼします。誤って入れた場合は、浴水を入れ替えてください。(P.30参照)

◆ 追いだきなどで、お湯の沸かし過ぎにご注意ください。

泡出しユニットが変形し故障の原因になります。



**ご使用前に本機の各部に異常が無いことを必ず確認してください。
また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異常が生じた場合は使用しないでください。**

2

目次

1 安全上のご注意	1
◆快適にお使いいただくために	5
2 目次	6
3 各部の名称	8
◆本体	8
◆泡出しユニット	9
◆付属品	9
◆操作パネル表示	10
4 使い方	12
◆運転および停止方法	12
◆温度調節のしかた	14
◆電解水素浴について	15
◆本体の熱洗浄について	17
◆ジェット運転のしかた	18
◆保温機能停止について	18
◆浴水の浄化について	18
◆経済的なご使用方法	19

電解水素浴システム（+24時間風呂）とは？

浴水を循環しながら、浴水を電気分解して水素を発生させ水素浴を行える機能に、24時間風呂の機能（24時間連続して浴水を一定温度に保ち、浴水を浄化する）を付加した商品です。浴水が24時間連続して循環・ろ過・制菌・保温しており、お客様の日常におけるお手入れが必要です。

5 お手入れ 20

- ◆日常のお手入れ20
- ◆トップフィルターの洗浄および交換21
- ◆ヌメリの除去22
- ◆ろ材の手洗浄22
- ◆本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄 ..26
- ◆紫外線ランプの交換28
- ◆漏電保護プラグの点検方法29
- ◆浴槽のお湯を入れ替えるときは30
- ◆長期間お使いにならないときは30

6 異常や故障と思われるとき 31

- ◆浴水が濁ったり、臭いがあるとき31
- ◆故障かなと思ったとき32
- ◆異常表示と処置方法34

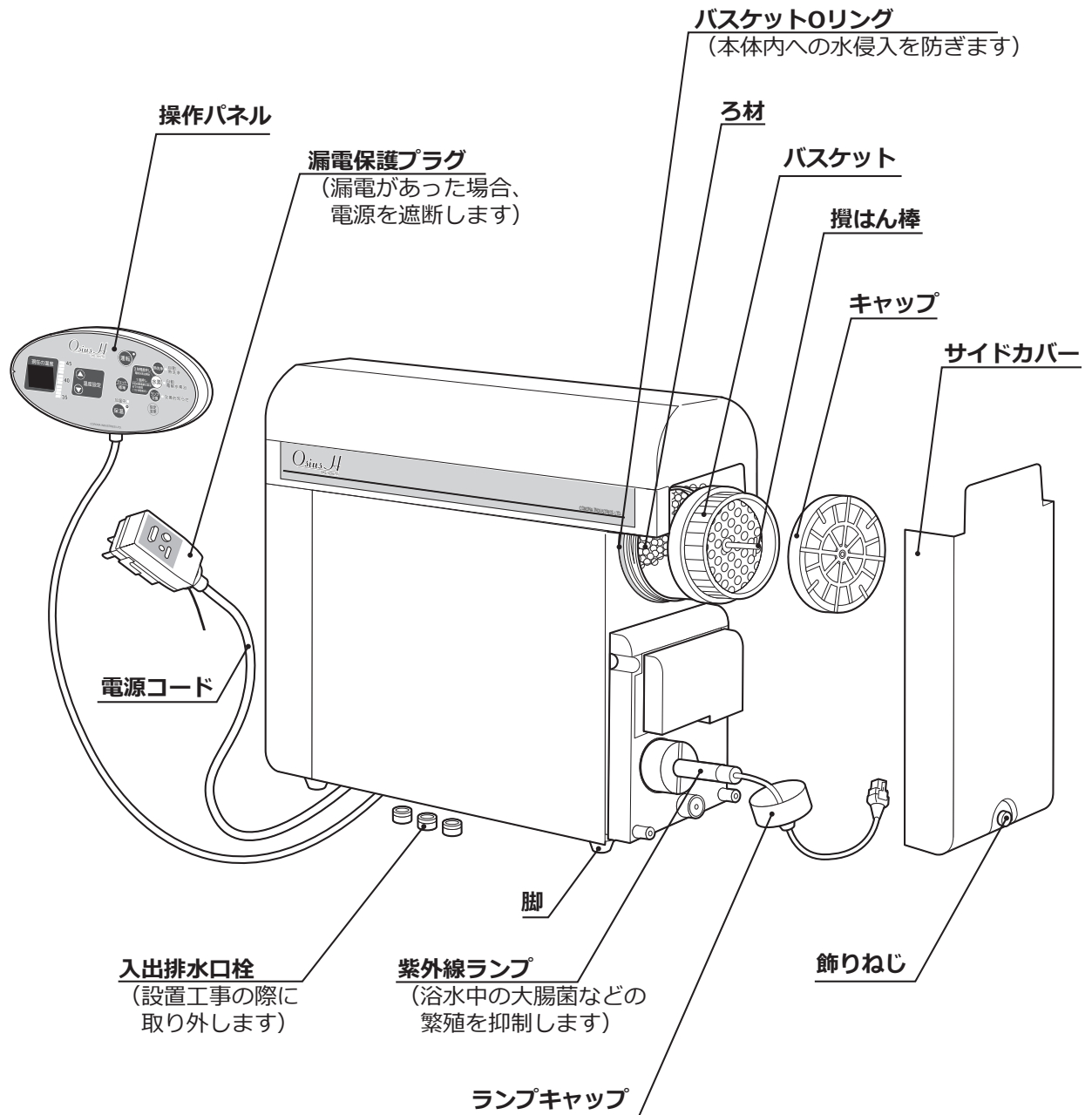
7 仕様 35

8 アフターサービスについて 36

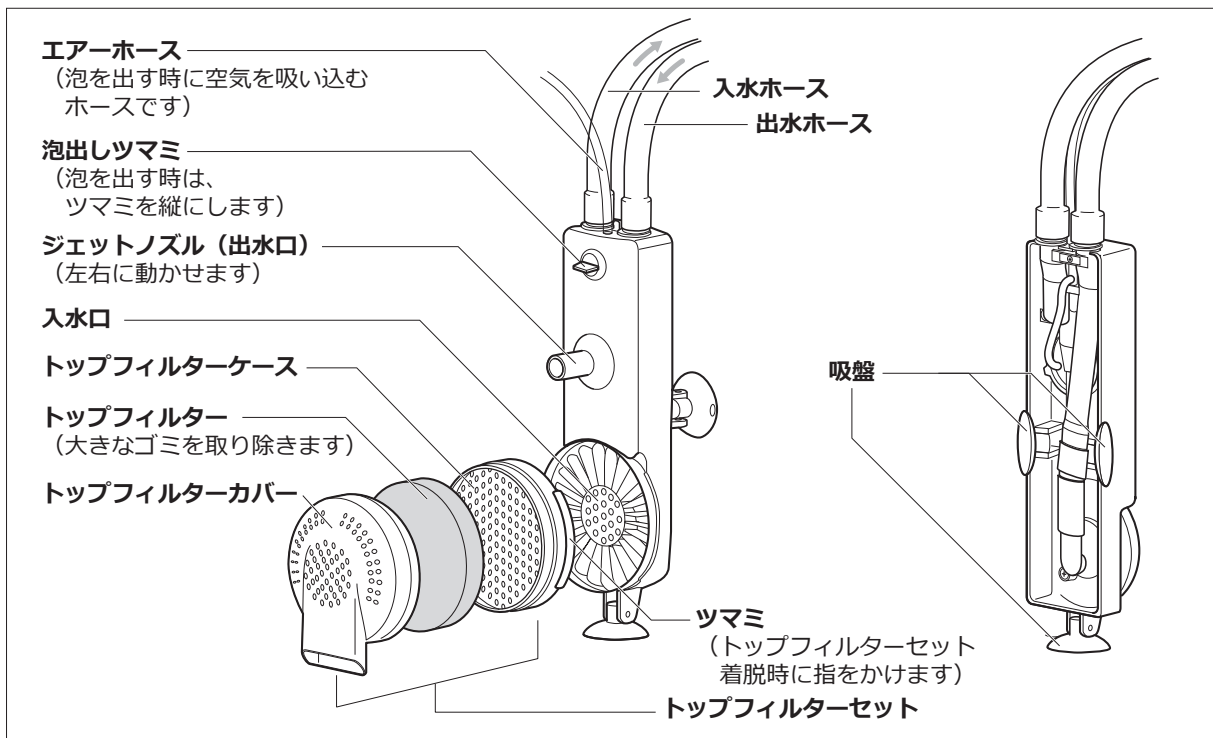
3

各部の名称

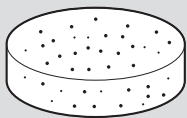
◆ 本体



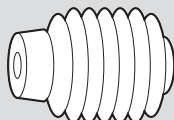
◆泡出しユニット



◆付属品 (設置工事の時に使用した部品は除く。設置工事説明書表紙参照)



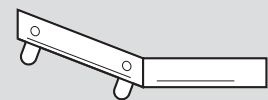
トップフィルター
 泡出しユニットへ取り付けます (2枚)



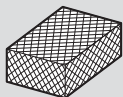
通水ポンプ
 むかえ水時に使用します



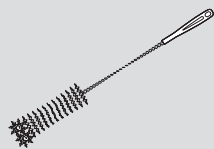
通水アダプター
 むかえ水時に入水口に接続して使用します



キャップスパナ
 キャップを開閉する際に使用します



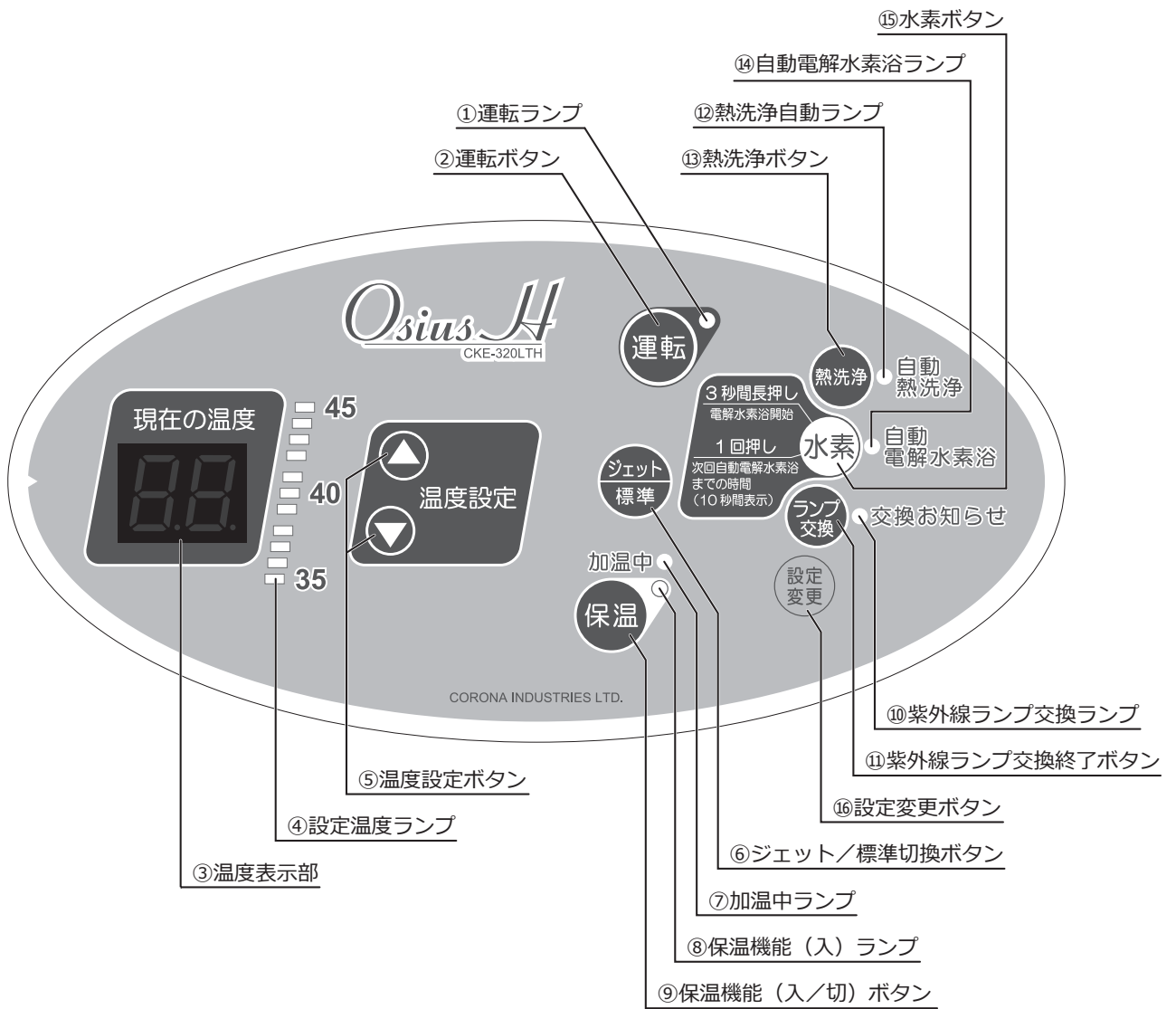
スポンジ
 浴槽などのヌメリ取りに使用します



洗浄ブラシ
 泡出しユニットなどのヌメリ取りに使用します

- ◆取扱説明書、設置工事説明書
- ◆保証書

◆操作パネル



表示部の説明

①	運転ランプ【緑】	本体運転中に点灯します。
②	運転ボタン	運転を入/切します。(P.13参照)
③	温度表示部	現在の浴水温度を表示します。 熱洗浄時の「CL」「HI」表示(P.17参照)、電解水素浴時の「CH」表示(P.15参照)および本体異常時のエラー内容を表示します。(P.34参照)
④	設定温度ランプ 35～38℃【緑】 39～41℃【橙】 42～45℃【赤】	浴水の設定温度を表示します。
⑤	温度設定ボタン	浴水温度を35～45℃の間で設定します。(1℃単位)(P.14参照)
⑥	ジェット/標準切替ボタン	標準の水流から勢いのあるジェット水流に切り換えます。 (5分経過後に自動停止します)(P.18参照)
⑦	加温中ランプ【赤】	加温中に点灯します。
⑧	保温機能(入)ランプ【緑】	保温機能が働いている場合に点灯します。
⑨	保温機能(入/切)ボタン	保温機能の動作/停止を設定します。(P.18参照)
⑩	紫外線ランプ交換ランプ【赤】	紫外線ランプの交換時期になると点滅します。(P.28参照)
⑪	紫外線ランプ交換終了ボタン	紫外線のランプ交換終了後に押します。(P.29参照)
⑫	熱洗浄自動ランプ【橙】	熱洗浄機能が自動設定されている場合に点灯します。 (設置当初から、自動設定にしていますので、点灯しています)(P.17参照)
⑬	熱洗浄ボタン	3秒間長押しすると、強制的に本体の熱洗浄が開始され、1回押しと、次回の熱洗浄までの残日数を10秒間表示します。(P.17参照)
⑭	自動電解水素浴ランプ【橙】	電解水素浴が自動設定されている場合に点灯します。 (設置当初から、自動設定にしていますので、点灯しています)(P.15参照)
⑮	水素ボタン	3秒間長押しすると、電解水素浴の電解が始まります。 1回押しと、次回の自動電解水素浴までの残時間を10秒間表示します。(P.15参照)
⑯	設定変更ボタン	保守、メンテナンス用のボタンです。通常は使用しないでください。

※上記の各ボタンを押すと「ピッ」と音が鳴ります。

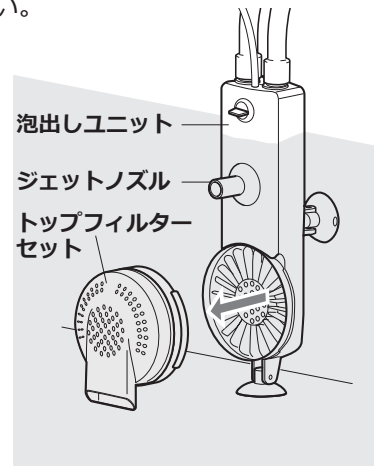
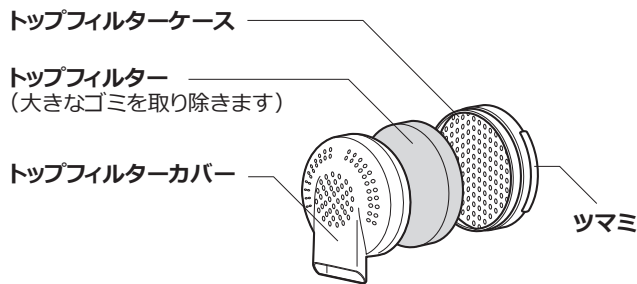
4

使い方

◆ 運転および停止方法


運転方法

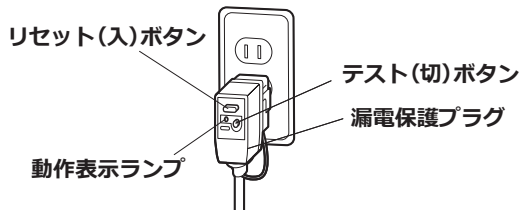
- 1 泡出しユニットのトップフィルターセットを外してください。



- 2 泡出しユニットのジェットノズルの上まで、浴槽に水道水を入れてください。

- 3 漏電保護プラグのコードを下向きにして電源コンセントに差し込んでください。

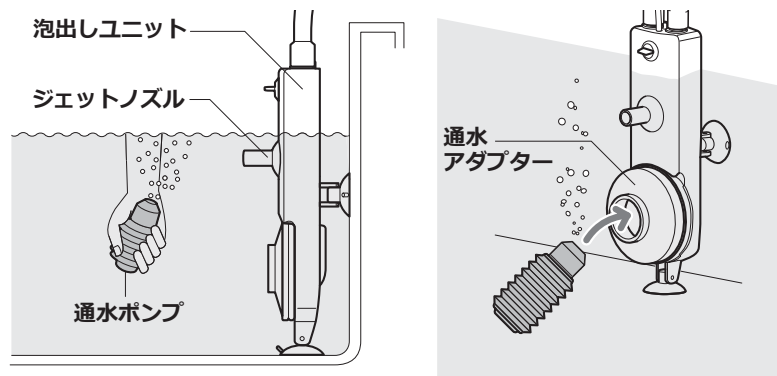
※この時、約40秒間本体の温度表示部に  が点滅表示されます。表示されていない場合は、漏電保護プラグの動作表示ランプを確認してください。動作表示ランプが点灯している場合は、[リセット(入)ボタン]を押してください。



⚠ 警告

- ◆コードを上向きにして漏電保護プラグを差し込まない。
- ◆延長コードや三つ又コンセントなどを使用しない。
- ◆差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。火災の原因になります。

- 4 下図のように、通水アダプターを泡出しユニットの入水口に取り付けて、通水ポンプを浴槽に沈め、中の空気を抜いてから、通水アダプターに差し込んでください。



5 操作パネルの[運転ボタン]を押してください。
運転が開始されます。

6 通水アダプターに差し込んだ通水ポンプで本体に
お湯を送り込んでください。

図のように通水ポンプの穴に手のひらを当て、十分に押しつけてお湯を送り込み、素早く手を離してください。ジェットノズルよりお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返してください。

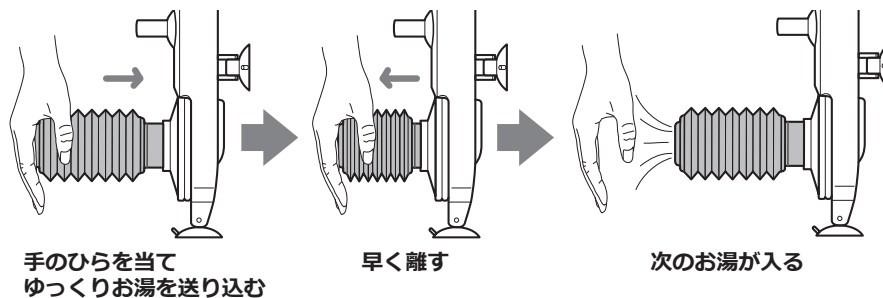
※上記の操作をむかえ水（呼び水）といいます。

※むかえ水（呼び水）をしている最中に本体の温度表示部に[E3]の点滅表示が出た場合は、運転ボタンを押し、一度本体を停止させてから手順**5**に戻り、再度むかえ水（呼び水）を行ってください。

※むかえ水（呼び水）を数回繰り返しても[E3]の点滅表示が出る場合は、設置工事説明書「10.ろ材のセット」(P.19)を参照してください。

お知らせ

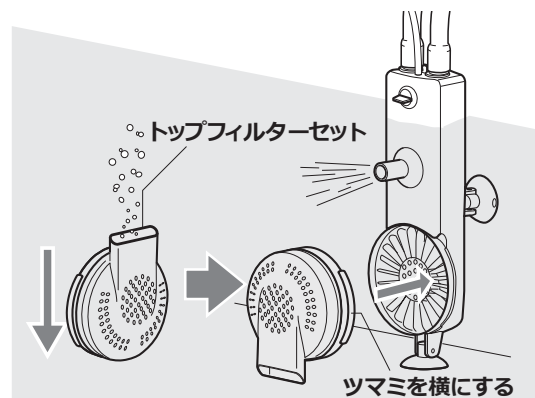
◆ポンプ運転開始時にやや大きな音がすることがありますが運転開始後、音が止まれば異常ではありません。これは本体ポンプ内にお湯が完全に入っていないために起こる現象です。



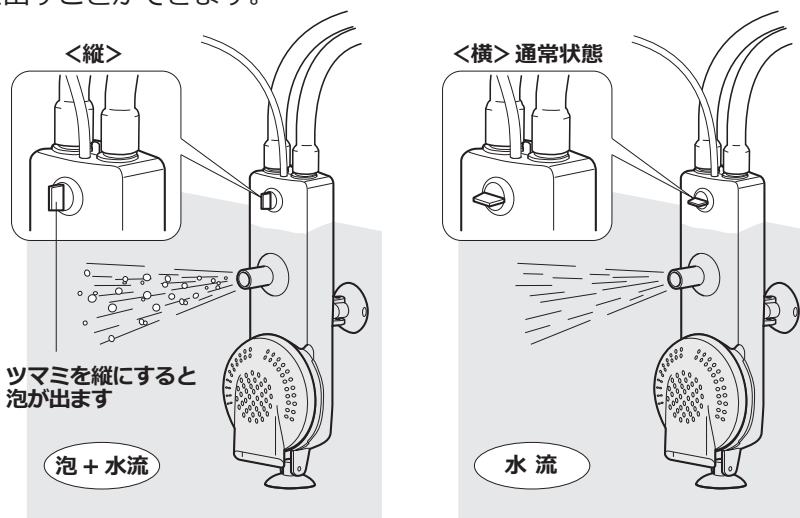
7 ジェットノズルからお湯が勢いよく流れ出したら運
転開始です。運転が始まったら通水アダプターを
外し、トップフィルターセットを泡出しユニット
に取り付けてください。

警告

◆泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。



8 泡出しユニットの泡出しつまみを縦にすると、
泡を出すことができます。



※ジェットノズルは
左右に動かせます。

停止方法

- 1 操作パネルの[運転ボタン]を押してください。
運転ランプが消灯します。
- 2 漏電保護プラグを電源コンセントから抜きます。

⚠ 警告

- ◆ 濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
- ◆ 漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
感電・火災の原因になります。

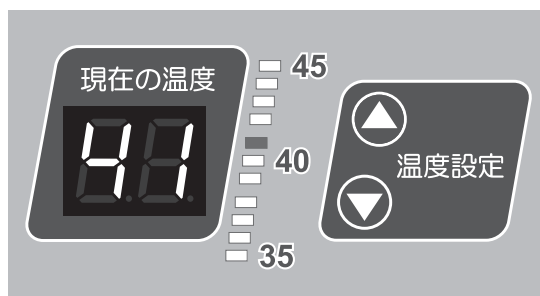
※以上で本体の停止は終了ですが、長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときは」(P.30)を参照の上、お手入れを行ってください。

◆ 温度調節のしかた

- 1 設定温度の上げ方
[温度設定ボタン]▲を1回押します。
ボタンを1回押すごとに1℃上がります。
- 2 設定温度の下げ方
[温度設定ボタン]▼を1回押します。
ボタンを1回押すごとに1℃下がります。

お知らせ

- ◆ 本体に取り込んだ浴水の温度を湯温として表示しています。水を補給した場合など、一時的に表示温度が下がることがあります。また、ホースの長さおよび設置条件により、湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。



※左端の温度表示部には、現在の湯温が表示されます。

※設定できる温度は35～45℃です。(1℃毎)

◆ 電解水素浴について

電解水素浴とは、本機に内蔵した電解槽で浴水を電気分解して、浴水に一定の水素を溶存させ、水素に期待されている効果を入浴で得ることができる機能です。

1 電解水素浴を行う

電解水素浴を行うときは、入浴中に操作パネルの[水素ボタン]を、3秒間長押しすると温度表示部が「CH」となり、電気分解が始まり水素を発生します。(ボタンを押してから約1時間電気分解を行います。)

お知らせ

- ◆ [水素ボタン]を押すと、次回の水素浴までの残り時間を約10秒間表示します。10秒後に湯温表示に戻ります。(10秒間は他の操作を受け付けません。)
- ◆ 強制熱洗浄 (P.17参照) を行った場合は、自動電解水素入浴の開始時間も熱洗浄と同じ時刻に変更されます。
- ◆ 溶存水素は目で見ることはできません。これは、電気分解で発生した水素が、水素ナノバブル状態で浴水内を漂っており、ナノバブルは目視出来ないためです。水素ナノバブルは徐々に浴水中に溶けて溶存水素となりますので、電解終了後もある程度は溶存水素濃度を維持しています。

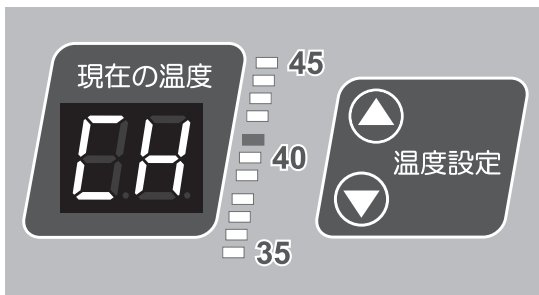
※電解水素浴用の電極は消耗品です。電極の寿命は、電解水素浴の利用回数に応じて短くなります。

2 自動電解水素浴について

本機は水素浴を毎日の入浴時間帯にご利用頂くために、[水素ボタン]を3秒間長押しした時刻を記憶する機能を持っています。

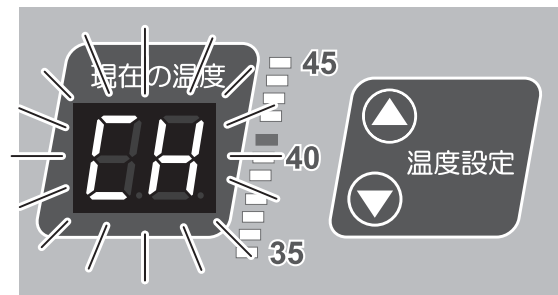
これにより、翌日から同じ時刻に、浴水の電気分解を自動的に開始します。

電解水素浴時



温度表示部が「CH」になります。

電解水素浴終了時間直前



温度表示部が「CH」点滅になり10分後、湯温表示に切り替わります。

3 電解水素浴中の電解停止方法

電解水素浴中に、強制的に電解水素浴を終了させたい場合は、[水素ボタン]を押すと強制終了します。

4 電解水素浴中に、「Ad」「CC」表示が出る場合

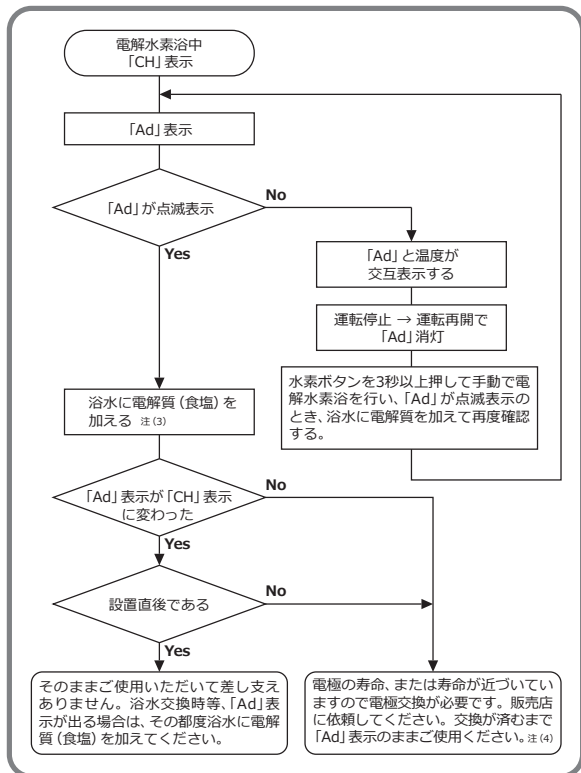
下記フローチャートに従って対応してください。

※「Ad」表示：浴水に電気が流れにくいことを表します。

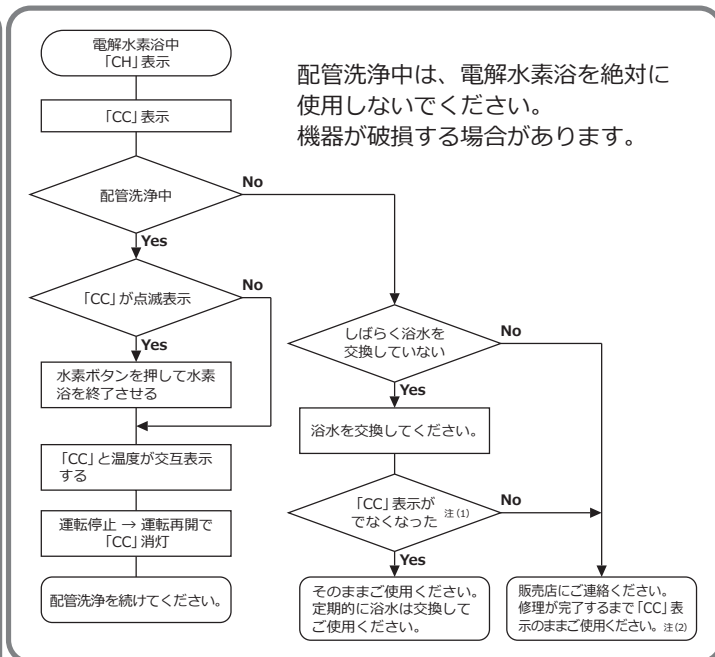
「CC」表示：浴水に電気が流れすぎること表します。

※運転停止 → 運転再開とは、[運転ボタン]を押して、一端運転を止め、再度[運転ボタン]を押して運転を再開することです。

「Ad」表示の場合



「CC」表示の場合



- ・「Ad」、「CC」の点滅表示中(水素浴中) → 水素ボタンしか受け付けない
- ・水素ボタンを押すと → 「Ad」、「CC」が温度と交互に表示される
- ・運転停止、運転再開 → 「Ad」、「CC」は確実に消灯する(次回水素浴の時間まで発生しない)
- ・「Ad」点滅表示中は、電解質(食塩)を投入することで「Ad」が消える場合がある
- ・「CC」点滅表示中は、水素ボタン → 運転停止以外消す方法はない

お知らせ

- ◆電解水素浴中は浴水を電気分解しています。塩化物が多い浴水の場合、電気分解中に塩素臭がする場合がありますが、人体に対しては安全です。
- ◆電解水素浴で発生する水素量では、爆発・発火する様なことはありませんのでご安心ください。

注(1) 電極近辺に汚れが付きかけており、自然復帰した。また、電気を流しやすい水質になりつつある。

注(2) (P.30参照) 浴水を交換しても改善しない場合は、販売店にご相談ください。

※入浴剤・薬湯・温泉水等をご利用の場合に「CC」表示が出やすくなりますので使用しないでください。

注(3) 食塩を小さじり切り1杯程度、浴水に投入してください。改善しない場合は、さらにもう一杯食塩を浴水に投入してください。

※食塩は、塩化ナトリウム99%以上の食卓塩等をご使用ください。(味塩は使わないでください)

注(4) 販売店に電極交換を依頼してください。(有償)

※電極は消耗品です。

※電極の寿命は1日2回電解で1年に1回交換です。電解水素浴の利用回数が多かったり水質条件によっては電極の寿命が短くなります。

※電極交換まで、電解水素浴は利用できません。

◆ 本体の熱洗浄について

熱洗浄とは本体内部のみを約60～70℃の高温にすることによって、浴水の浄化を衛生的に管理する機能です。

※熱洗浄は、約40分間行われます。その間、浴水は循環されません。

1 熱洗浄の開始時刻

熱洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。14日毎に、その時刻になると自動的に熱洗浄を開始します。

※熱洗浄時刻は、できるだけ入浴時間外に設定してください。

2 開始時刻の変更

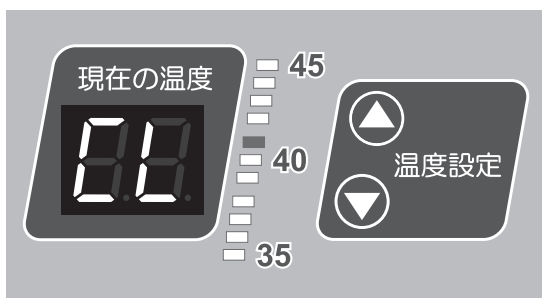
熱洗浄の開始時刻を変更したい場合（入浴時間を避けたい場合など）は、変更したい時刻に[熱洗浄ボタン]を3秒間長押しして強制的に熱洗浄を行います。次回からは14日毎にこの時刻に熱洗浄が自動的に開始されます。

※強制的な熱洗浄を頻繁に行うと、浄化を損なう恐れがあります。

お知らせ

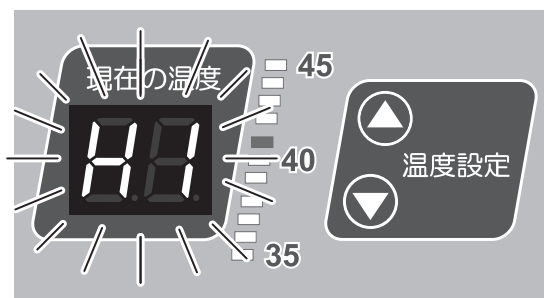
- ◆お手入れなどで本体を漏電保護プラグで停止させた場合（P.29参照）、本体が停止した時間だけ熱洗浄の開始時刻が前回とずれますのでご注意ください。
- ◆強制的に熱洗浄を行った場合は、自動電解水素浴の開始時刻が、熱洗浄終了時刻に変更されます。
- ◆[熱洗浄ボタン]を押すと、熱洗浄開始までの残日数が約10秒間表示されます。
- ◆熱洗浄の開始時刻に電解水素浴[CH]が行われている場合、電解終了後に熱洗浄が開始されます。

熱洗浄時



現在の湯温表示が[CL]になります。

復帰時



現在の湯温表示が[HI]の点滅になり、ブザー音（1分間）とともに、浴水の循環が開始します。その後、湯温表示に切り替わります。

3 熱洗浄中の熱洗浄停止方法

熱洗浄中に、強制的に熱洗浄を終了させたい場合は、[熱洗浄ボタン]を押すと強制終了します。

お願い

- ◆熱洗浄が終了すると自動的に運転状態に復帰します。その際、少量の約60℃のお湯がジェットノズルより間欠的に出てきますのでご注意ください。
- ◆排水ホースが接続されていることを確認してください。熱洗浄時には、洗浄開始とともに排水ホースから約20ℓのお湯が排出されます。
- ◆熱洗浄はお湯を約20ℓ使用しますので、減った分だけ給湯または給水してください。

◆ ジェット運転のしかた

ジェット運転は、流量を標準運転の1.2倍程度に増し、勢いのあるジェット水流にします。

1 [ジェット/標準切換ボタン]を押します。
ジェット運転は5分間運転し、自動的に通常運転に戻ります。

2 ジェット運転中に [ジェット/標準切換ボタン] を
押すと標準運転に戻ります。

お知らせ

- ◆ 本体は電源投入から24時間おきに、30秒間自動的にジェット運転を行います。これは、浄化促進のためで、故障ではありません。

◆ 保温機能停止について

1 保温機能を停止したいとき
操作パネルの [保温機能 (入/切) ボタン] を3秒間長押しします。

※このとき、「保温機能 (入) ランプ」が消灯し、湯温が設定温度より低い場合でも、ヒーターによる加温を行いません。

2 保温機能を入に戻すとき
操作パネルの [保温機能 (入/切) ボタン] をもう一度押しします。

※このとき、「保温機能 (入) ランプ」が点灯し、湯温が設定温度に保つようにヒーターが入/切を繰り返します。

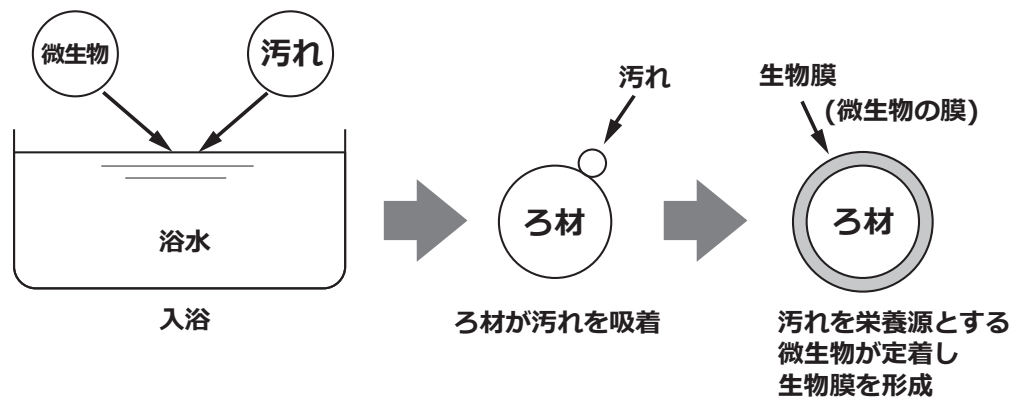
お知らせ

- ◆ [保温機能 (入/切) ボタン]により、保温機能を停止させても、本体の循環ポンプは停止しません。引き続き浴水の浄化は行われます。
- ◆ 入浴しない時間帯に保温機能を切にしておくことで電気代の節約になります。また、本機は循環ポンプの発熱を浴水の温度維持に利用する省エネ設計です。浴槽の材質や他の条件にもよりますがヒーター機能を停止していてもポンプの発熱の影響により、夏場は35℃前後、冬場は28℃前後の浴水温度を保ちながら運転することがあります。

◆ 浴水の浄化について

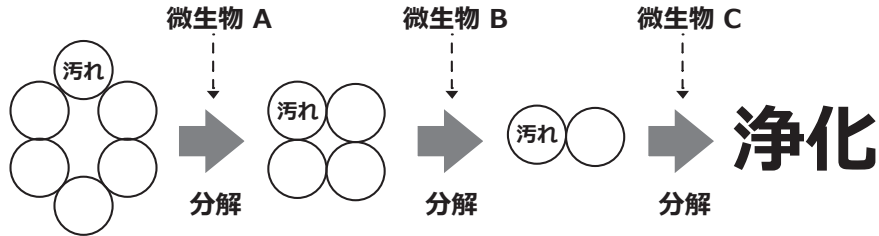
浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物の膜によって浄化されます。そのため、ろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成される間は、浄化がうまく行われていないことがあります。通常この膜が形成されるまで1～2週間かかりますので、浴水に濁りや臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.30参照)

浄化されるまで



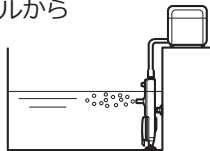
生物膜の中では

生物膜の中では、何種類もの微生物がそれぞれ自分の分担の汚れを分解していき、最終的に汚れが分解されます。また、浄化で活躍する微生物が増えると、浄化に適さない微生物（大腸菌）などは死滅していきます。



生物膜を早く形成させるには

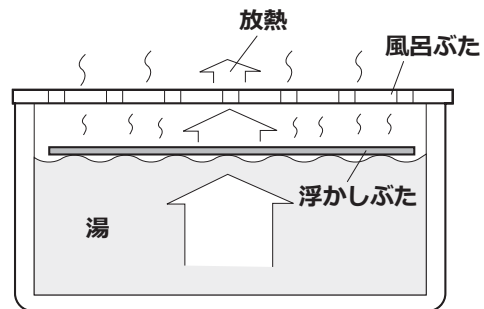
どうする？	どうして？
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 汚れを落としてから入浴する ◆ 浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さない。 ◆ 濁った場合は浴水を交換する。 	<p>汚れが多過ぎるとある特定の微生物が多くなったり、環境が悪くなったりして、必要な微生物がなかなか生育できません。汚れを少なくするため、最初のうちは、濁りや臭いがある場合は浴水を交換します。（P.30参照）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最初の14日間は濁っても、ろ材を洗わない。 ◆ 強制的に熱洗浄しない。 	<p>ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されていきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。濁りや臭いがある場合は、浴水を交換してください。（P.30参照）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 入浴時以外でも泡出しユニットのジェットノズルから泡を出す。 	<p>浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、とくに最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を送り込むことで微生物の成長を促します。</p>



◆ 経済的なご使用方法

次の項目を実施すると、電気料金の節約になります。

- ◆ 浴槽の湯面に「浮かしぶた」を浮かし、その上に風呂ぶたをすると湯面からの放熱を減らすことができます。
- ◆ 浴水を入れる時や足し湯をする時は、お湯を入れてください。ヒーターの通电時間を短くし、電気代が節約できます。
- ◆ ジェットノズルより泡を出すとお湯が冷えやすいため、必要ない時（浄化が良い状態で行われており、誰も入浴していない時）は泡を止めておいてください。ヒーターの通电時間を短くし、電気代が節約できます。



5

お手入れ

◆ 日常のお手入れ

⚠ 注意

◆ 下記の「日常のお手入れ」に従って、正しくお手入れを行う。
細菌が異常に増える恐れがあります。

お手入れの種類	お手入れの頻度	参照ページ
トップフィルターの洗浄	毎日入浴後	21ページ
トップフィルターの交換	6か月または破損時(消耗品)	21ページ
ヌメリの除去	毎日入浴後	22ページ
本体の熱洗浄	14日に1回(初回は、設置後21日目)(自動)	17ページ
ろ材の手洗浄	3か月に1回、本体、泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行ってください。減少したら補充・交換。(消耗品)	22ページ
本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄	3か月に1回	26ページ
紫外線ランプの交換	1年に1回交換(消耗品)/または交換ランプが点滅したら。(グロー球[FG-7P]も同時に交換します。)	28ページ
電極(電解水素浴用)	1年に1回交換(消耗品)/1日2回電解した場合。(水質により交換時期が変わる場合があります。)	15ページ
漏電保護プラグの点検	1か月に1回	29ページ
浴水の交換	1週間に1回以上または、浴水に濁りや臭いが発生した場合。	30ページ
長期間お使いにならないときは		30ページ

※ただし、毎日の入浴回数・人数や汚れの量などにより、それぞれのお手入れの頻度が短くなる場合があります。

[有料メンテナンスサービス]

※上記の日常のお手入れを行うことができない場合は、保証期間内でも有料で承りますので販売店にご相談ください。

お願い

◆ 本体内に汚れが付着し水流が弱くなったまま使い続けると、故障の原因になりますので必ず定期的に洗浄などのお手入れをしてください。

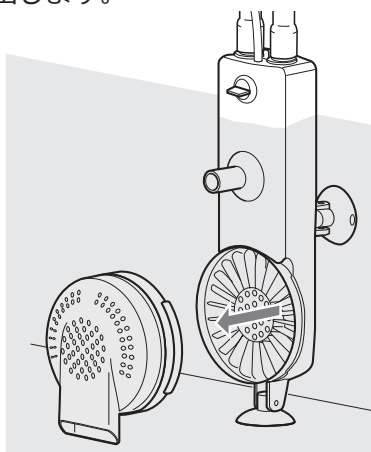
以下のような状態になったときは、トップフィルターが原因と考えられます。
次のお手入れ方法に従って正しくお手入れをしてください。

- ◆ ジェットノズルからの気泡の噴出が弱まった場合
- ◆ ポンプが自然に停止する場合 (E3表示)
- ◆ 本体から大きな音がする場合
- ◆ 浴水の濁りや臭いが進行した場合
- ◆ 温度が上がらない場合
- ◆ 髪の毛などがいつまでも浮遊している場合

◆ トップフィルターの洗浄および交換

泡出しユニットのトップフィルターは1日1回以上(入浴時などに)洗浄してください。
トップフィルターは6か月ごと、または破損時など定期的に交換してください。

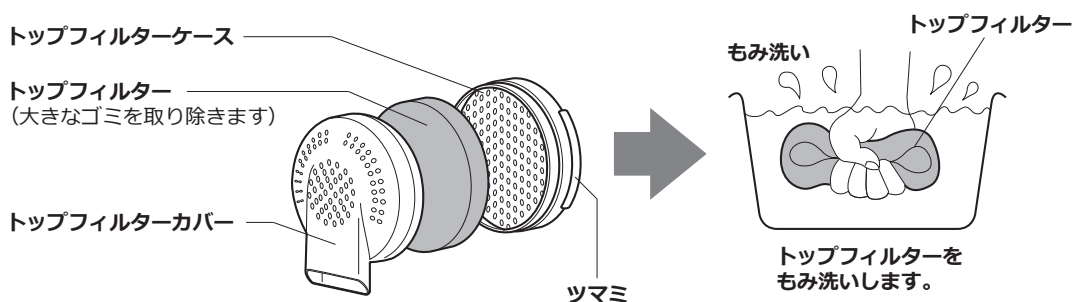
- 1** トップフィルターセットを少し回転させながら取り外し、
浴槽外へ出します。



お願い

- ◆ 浴水中に大きなゴミがないことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

- 2** トップフィルターセットからトップフィルターを取り出し、洗面器などにお湯を入れもみ洗いします。



- ※ トップフィルターの内部に油の膜ができる場合がありますので、ボディークリーム、または石けん等でもみ洗いしてください。(強い洗剤は使わないでください)
- ※ トップフィルターは、必ず当社指定のものをお使いください。他のものを利用した場合の故障は、保証対象外になります。

- 3** トップフィルターを逆の手順で泡出しユニット本体に取り付けます。
※ トップフィルターケースのツマミは横にして取り付けてください。(P.13参照)

◆ヌメリの除去

浴槽内面に付着したヌメリや汚れは、1日1回以上付属のスポンジなどで拭いてください。
浴水中に落ちた汚れはトップフィルターなどで除去されます。

◆ろ材の手洗浄

ろ材は消耗品です。ろ材の容量が減少していれば補充または交換してください。

洗浄方法

1 操作パネルの[運転ボタン]を押して、運転を停止してください。

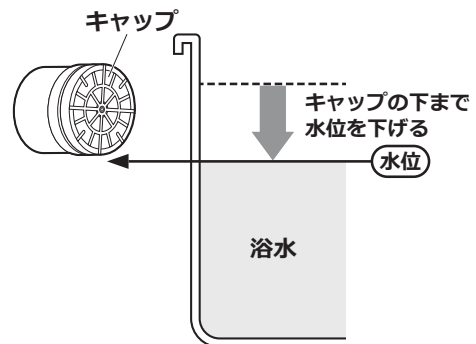
2 浴水面が泡出しユニットの入水口またはキャップより低い位置になるまで、浴水を抜いてください。

⚠ 注意

◆キャップを開けるときの、浴水の水位がキャップより高い位置にあると水漏れし、本機の故障の原因になります。
キャップを開けるときは必ず、キャップより水位が低いことを確認してから開けてください。

お願い

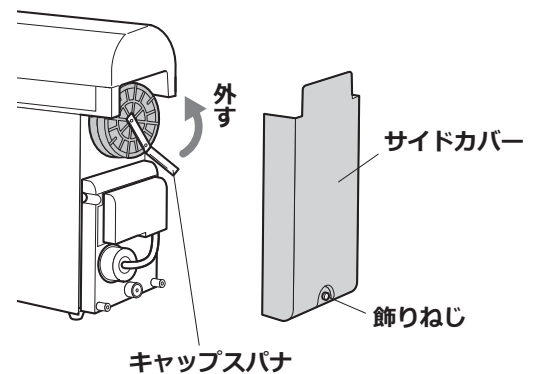
◆ろ材の手洗浄は風呂場などで行ってください。
ろ材に付着したヌメリなどで周囲が汚れます。



3 飾りねじを外しサイドカバーを外して、付属のキャップスパナでキャップを左に回して外してください。

⚠ 注意

◆キャップスパナをすべらせてケガをしないように注意する。



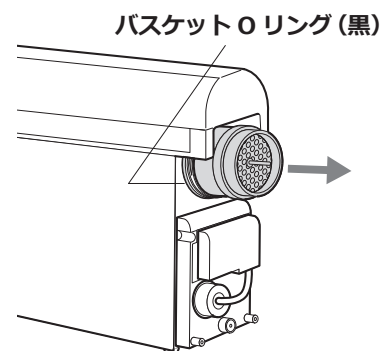
4 バスケットに手を添えて本体から取り出してください。

※バスケットを取り出すとき、本体に残っている水が出てきますのでご注意ください。

※バスケットOリングが切れて外れた場合は、販売店へご注文ください。

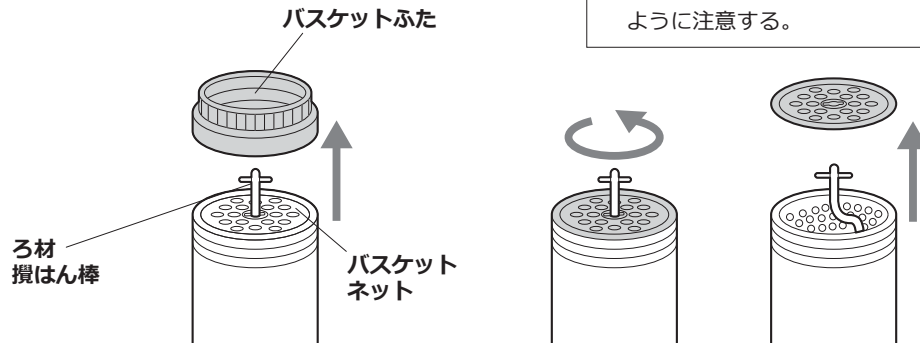
⚠ 注意

◆バスケット周囲はヌメリがありすべりやすく、重たいので落としてケガをしないように注意する。
◆バスケット中央ろ材攪はん棒でケガをしないように注意する。



5 取り出したバスケットの周囲のヌメリをスポンジで洗い落とし、バスケットふたを回して取り外します。

6 バスケットネット中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒の向きを合わせ、バスケットネットを取り外してください。



注意

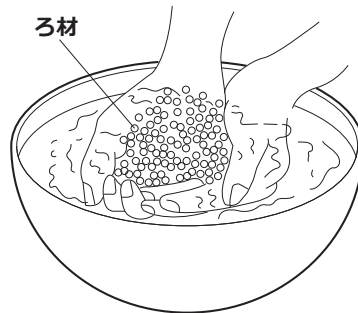
◆バスケットなど部品のエッジでケガをしないように注意する。

7 バスケットからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。

お願い

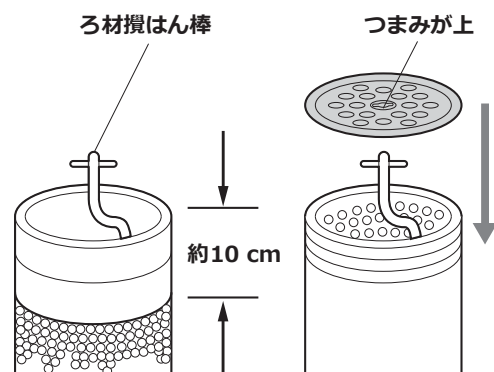
◆この時、ろ材攪はん棒はバスケットの底に固定されていて抜けませんので、無理に引き抜かないでください。

8 ろ材を残り湯などのぬるま湯を用い、手で軽く2~3回洗い、浮遊物がなくなるまでよくすすいでください。



9 洗い終わったらろ材をバスケットの上部から10 cm位のところまで入れます。

この時、ろ材攪はん棒が中央にくるようにバスケットを上下に振動させたりして少しずつろ材を入れてください。



お願い

◆バスケットにろ材を入れたとき、上から10cmに満たない場合はろ材を補充してください。

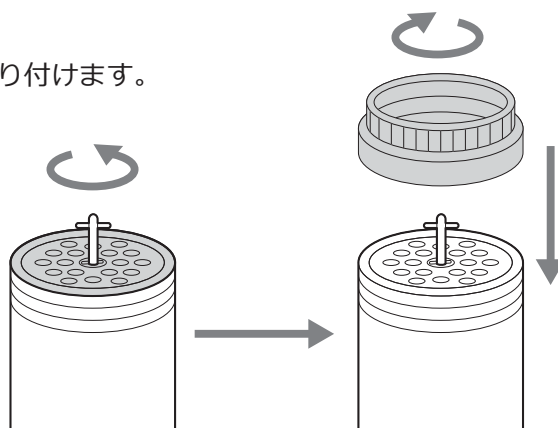
- 10** バasketネットの中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒の向きを合わせて取り付けます。

お願い

- ◆Basketネットの中央のつまみが上にあるように取り付けてください。

- 11** Basketネットを1/4回転し、Basketから取れないようにしてください。

- 12** 最後に、Basketふたを取り付けます。



- 13** Basketの上からぬるま湯を注いでください。ろ材に付着している余分な汚れをすすぎます。

注意

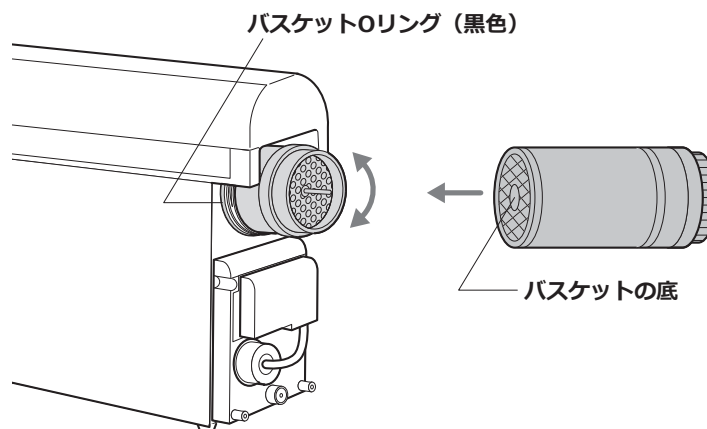
- ◆Basketネットの上からお湯を注ぐと、Basketの底部からお湯が出てきますのでご注意ください。

- 14** BasketをBasketの底から本体に挿入します。Basketを奥までセットしたところで少し回転させます。本体のBasket挿入口からBasketが出ないようにします。奥まで入っていないとキャップが締まらず、水漏れの原因になります。

お知らせ

- ◆BasketOリングが外れていると本体へ水が侵入し、故障の原因となります。

※BasketOリングが、きちんとセットされていることを確認してください。BasketOリングが切れて外れた場合は、販売店へご注文ください。

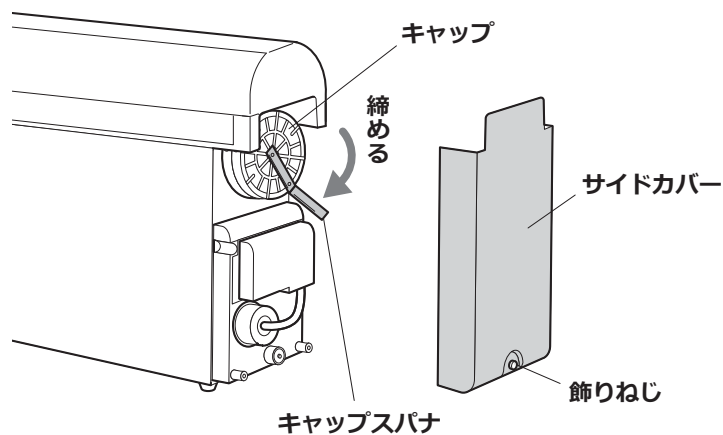


- 15** 本体にキャップを取り付けます。キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。

※キャップ裏面のキャップOリング(半透明)がきちんとセットされているか確認してください。(P.32参照)

注意

◆キャップを斜めに取り付けていたり、キャップ内側のOリングが正しくセットされていないか、またはOリングが傷んでいると、水漏れして故障の原因になります。(P.32参照)



- 16** サイドカバーを元どおり取り付け、飾りねじを締めてください。

- 17** 泡出しユニットのジェットノズルの上までお湯(水)を追加してください。

- 18** 操作パネルの[運転ボタン]を押して、浴槽内のお湯を循環させて運転開始してください。

※運転を再開しても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってから運転してください。

◆ 本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄

あらかじめ準備するもの

◆ 24時間風呂専用洗浄剤

24時間風呂専用洗浄剤は、販売店へご注文ください。ご使用の際は洗浄剤の注意書きをよく読んでから、ご使用ください。

◆ ホース

ホースは設置工事の際に残ったもの(1 m程度)を使います。

ホースがない場合は、内径18 mmの市販のホースをお買い求めください。

1 操作パネルの[運転ボタン]を押し、運転を停止させてください。

2 浴水面がバスケットのキャップより低い位置になるまで浴水を抜き、本体からバスケットを取り出します。(P.22参照)

3 バスケットを取り出したままの状態に本体にキャップを取り付け、操作パネルの[運転ボタン]を押し、運転を開始し、浴水が循環することを確認します。(P.25参照)

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってください。

4 運転しながら、浴槽の湯を右図のように、水位が入水口の5 cmくらい上になるまで抜きます。

(トップフィルターセットの上部まで) 出水口にホース(切り残し)を差し込み、浴水の水面下に入れます。

5 浴水中に、大きなゴミなどがないことを確認し、トップフィルターセットを取り外してください。大きなゴミなどがある場合は必ず取り除いてください。

⚠ 注意

◆ 中性または弱アルカリ性以外の洗浄剤は使わない。本体やバランス釜などの故障、浴槽の変色・ヒビの原因になります。

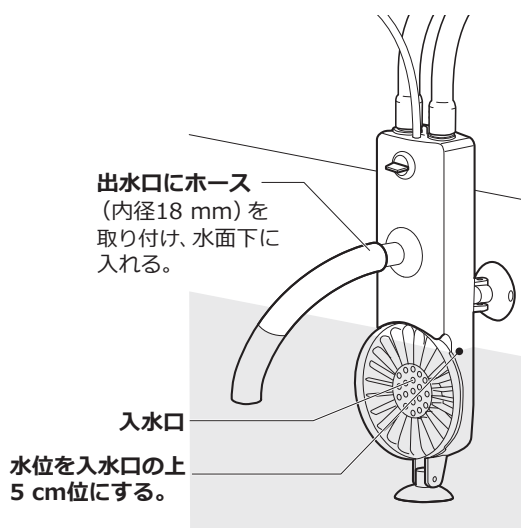
お知らせとお願い

本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄中に自動電解水素浴が開始されると**機器が破損する場合があります**ので、洗剤投入前に、必ず水素ボタンを3秒以上押してから電解水素浴(CHを表示させる)を行なってください。

開始後、水素ボタンを一度押すと電解水素浴を終了します。また、配管洗浄開始後は、絶対に水素ボタンを押さないでください。

⚠ 注意

◆ バスケット周囲はヌメリがありすべりやすく重たいので、落としてケガをしないように注意する。



6 水素ボタンを3秒以上押します。
温度表示部に「CH」が表示されたら、再度水素ボタンを押して「CH」表示を温度表示に戻します。
(配管洗浄中に自動電解水素浴を開始しないようにします)

7 24時間風呂専用洗浄剤約600gを洗面器等に入れて、お湯でよくかきまぜてから浴槽内に入れてください。

8 1時間以上運転します。長時間運転するほど汚れがよく落ちます。できれば一晩運転してください。
(設定温度を最高温度45℃にします。)

(23時間以上運転すると、自動電解水素浴が開始されますので、
配管洗浄の全ての行程が23時間以内に終了するように行なってください。)

9 運転後、ホース内の汚れが出て水が濁ります。ここで操作パネルの[運転ボタン]を押して運転を停止させ、浴槽の水をすべて抜いてください。

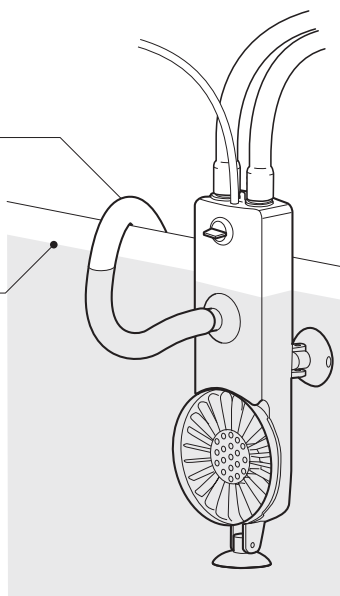
10 バスケットのキャップを外します。(P.22参照)
キャップの裏面をよく水洗いしてください。また、泡出しユニットの裏面も付属のスポンジや洗浄ブラシで汚れを落とし、シャワーなどで洗い流してください。

11 キャップを取り付け、浴槽に8割程度水を新たに入れて、出水口のホースを浴槽外に出します。操作パネルの[運転ボタン]を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってください。

出水口に取り付けたホースは
浴槽の外へ出す

浴槽の8割程度
水を入れる。



12 出水口のホースを取り外し、泡出しユニットと浴槽を十分にすすぎ洗います。

13 すすぎ洗い終了後、バスケットをセットして(P.25参照)浴槽に給湯し、操作パネルの[運転ボタン]を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってください。

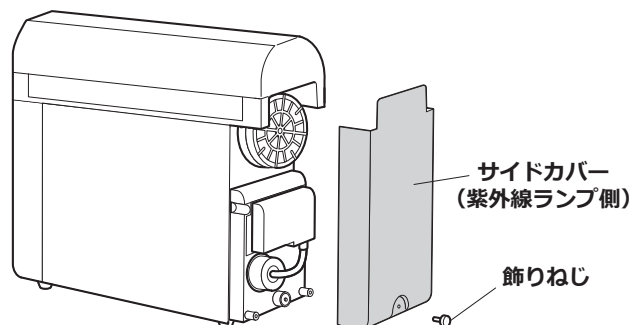
※設定温度を設定しなおしてください。

◆ 紫外線ランプの交換

紫外線ランプの寿命はおよそ1年です。寿命がきた場合、紫外線ランプ交換ランプが点滅します。次の手順で紫外線ランプとグロー球を交換してください。

1 操作パネルの[運転ボタン]を押し、運転を停止させてください。

2 飾りねじを外し、サイドカバーを外してください。



3 紫外線殺菌灯のコネクターを外します。コネクターは、上部のつまみを押さえて左右に動かしながら引っ張ると外れます。

4 ランプキャップを手前に引き出して取り外します。

5 右図のように紫外線ランプを引き抜き、取り出します。

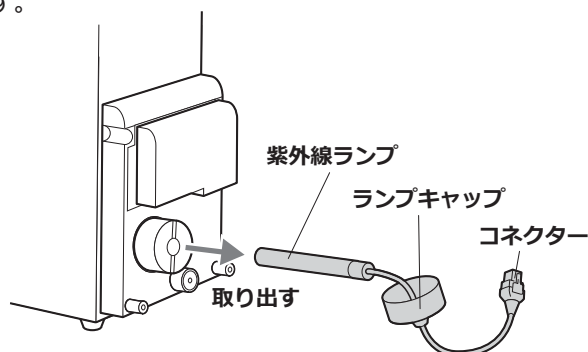
6 新しい紫外線ランプを差し込みます。

7 ランプキャップをはめます。

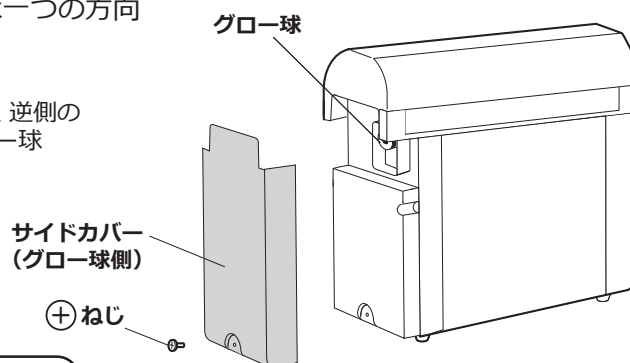
8 コネクターを接続します。コネクターは一つの方向しか接続できない構造となっています。

⚠ 注意

- ◆コネクターを外すときは、ケガをしないように気をつける。
- ◆紫外線ランプは、ガラス製なので、割ってケガをしない。
- ◆紫外線ランプの光は直接見ない。必ず運転を止めて交換する。目を痛める恐れがあります。



※紫外線ランプを交換後、プラスドライバーで、逆側のサイドカバーを外し、紫外線ランプ用のグロー球 (FG-7P) を交換してください。



お願い

紫外線ランプは微量の水銀を使用しています。

交換した紫外線ランプはガラス部分の破損に注意し、自治体の回収ルール（蛍光灯と同じ扱い）に従い正しく分別・廃棄してください。



必ず守る

9 サイドカバーを取り付け、下部をねじで固定してください。
(紫外線ランプ側は飾りねじで固定、グロー球側は⊕ねじで固定します。)

10 操作パネルの[運転ボタン]を押して、本体を運転させてください。

11 操作パネルの[紫外線ランプ交換終了ボタン]を押します。紫外線ランプの積算時間がリセットされ、紫外線ランプ交換ランプが消灯します。

お知らせ

◆紫外線ランプ交換ランプが点滅する前に紫外線ランプを交換した場合、[ランプ交換ボタン]紫外線ランプの積算時間がリセットされます。

◆ 漏電保護プラグの点検方法

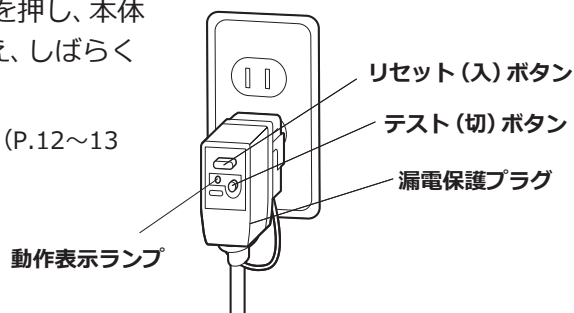
月に1度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

1 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま、漏電保護プラグのテスト(切)ボタンを押してください。

2 動作表示ランプが点灯すれば正常です。
※動作表示ランプが点灯しない場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

3 漏電保護プラグのリセット(入)ボタンを押し、本体に通電させます。動作表示ランプが消え、しばらくして運転が開始されます。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってください。



◆ 浴槽のお湯を入れ替えるときは

1週間に1回、または浴水が濁ったり、臭いが発生した場合など、日常のお手入れの際にお湯を入れ替える場合は次の手順で行って

- 1** 操作パネルの[運転ボタン]を押して、本体を停止させてください。
- 2** 浴槽のお湯を抜いてください。
- 3** 浴槽、泡出しユニットの汚れを、付属のスポンジや洗浄ブラシで落とし、シャワーなどで汚れを洗い流してください。
- 4** 泡出しユニットのジェットノズルが十分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。
- 5** 操作パネルの[運転ボタン]を押すと、浴槽内のお湯が循環を始め運転開始となります。
※運転を再開させても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってから運転してください。

◆ 長期間お使いにならないときは

- 1** 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 2** ろ材は、「ろ材の手洗浄」(P.22参照)に従って洗浄します。その後、天日で乾燥させ保存します。
- 3** 本体内部は、「本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄」(P.26参照)に従って洗浄します。すすぎの終わった後、本体から水を抜きます。キャップは本体内部が乾くまで、開けておいてください。
- 4** トップフィルターは「トップフィルターの洗浄および交換」(P.21参照)に従って洗浄し、日陰で乾燥させ保管します。

※再び使用される際は、「バスケットのセットのしかた」(P.22参照)「運転および停止方法」(P.12参照)に従って運転させてください。

⚠ 注意

- ◆長期間本体を使用しない場合は、浴室から本機を取り外してください。
運転せず浴室に放置すると、内部で結露が発生し、再運転の際に感電・火災の原因になります。

6

異常や故障と思われるとき

◆ 浴水が濁ったり、臭いがあるとき

設置当初、浄化微生物がろ材に付着するまで1～2週間かかります。その間、浴水の浄化がうまく行われませんので、濁りや臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.20、30参照)

点検1 お風呂につかるまえに身体を洗っていますか？

特に、若い方が多いご家族では代謝が激しいため、過度の汚れが浴水に入る場合があります。かかり湯を行うか、身体を洗ってからお風呂につかることで改善するかおためしください。

点検2 トップフィルターを毎日洗っていますか？

トップフィルターの目づまりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。(石けん・ボディークリームソープを利用して、もみ洗いしてください。)

点検3 何日間使用しましたか？

設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら、濁った都度浴水を捨てて、新しいお湯と入れ替えて様子を見てください。(P.30参照) 2～3週間程経過しても、きれいにならないようでしたら、販売店にご相談ください。

点検4 追いだき等での沸かしすぎはありませんか？

50℃以上のお湯が頻繁に本体の内部に入ると、ろ材に付着した微生物が不活発になります。その場合、浴水が濁ることがありますので、浴水が濁りましたら、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行ってください。

点検5 1日にたくさんの方が入浴しませんでしたか？

例えば、毎日使用されている人数より、多くの方が入浴した場合、普段より浄化に時間がかかることがあります。なるべく浴水を使ってかかり湯を行い、足し湯をしてください。

点検6 熱洗浄を頻繁に行っていませんか？

必要以上に熱洗浄を行うと浄化に影響をおよぼす可能性があります。

点検7 長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか？

浴水がきれいな状態で数か月使用した後、浴水が濁ってきた場合は、

- ◆ トップフィルターの洗浄および交換 (P.21参照)
 - ◆ ろ材の手洗浄 (P.22参照)
 - ◆ 本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄 (P.26参照) に従って洗浄してから、再度取り付けて運転してください。
- ※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水) (P.12～13参照) を行ってください。

※以上の点検でも浴水がきれいにならない場合は販売店にご相談ください。なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承ります。

◆ 故障かなと思ったとき

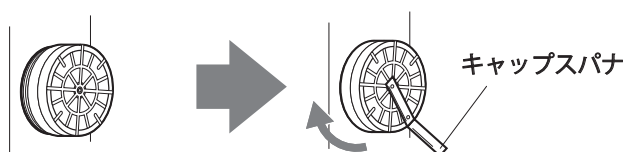
Q1. 水漏れする

キャップ正しく取り付けられていない場合、水漏れすることがあります。
次のような原因が考えられますので、ご確認ください。

- (1) キャップが斜めに取り付けられている場合



- (2) キャップの締め付けが不足している場合



- (3) キャップ裏面のキャップリングがきちんとセットされていない場合



Q2. 温度が上がらない

- (1) 浴槽および浴水表面からの放熱が大きい。



きちんと浴槽のふたをしてください。また、放熱しやすいお風呂（例.タイル風呂、大きな浴槽など）については断熱を行ってください。また、湯面に「浮かしふた」をするのも、有効な手段です。（P.19参照）

- (2) 循環流量が低下している。



循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体、ホースを洗浄してください。

Q3. 設定温度より表示温度が高い

- (1) 設定温度より表示温度が1℃高い。



本体の温度コントロールは、設定温度より湯温が1℃低くなるとヒーターが入り、1℃高くなるとヒーターが切れるようになっています。1℃高い場合は、とくに故障ではありません。

- (2) 設定温度より表示温度が2℃以上高い。



ポンプの熱を浴水の温度維持にも利用する省エネ設計となっています。夏場などで、保温性能の良いお風呂や、直射日光が当たるお風呂の場合、まれに湯温が設定温度より高くなる場合があります。

Q4. 家庭の電流ブレーカーが
頻繁に落ちる

本体の電源容量はAC100V 9Aです。ブレーカーが頻
繁に落ちる場合は容量オーバーです。お近くの電力
会社にご連絡ください。

Q5. 突然、水流が強くなり、30秒
たつと水流がまた元に戻る

浄化促進のため、電源投入時（運転開始時）より24時
間おきに30秒だけジェット運転を行うように設定さ
れており故障ではありません。

Q6. 浴槽の一部が茶色く変色した

水道水に含まれる鉄分により浴槽の一部が茶色く変
色する場合があります。浴槽メーカーへお問い合わせ
ください。

Q7. チェーンなどのメッキが
はがれた、サビた

浴槽内の金属部については、サビる場合があります。
なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

Q8. 温度表示部が **E0** の表示で点滅する

(1) **E0** と現在湯温が交互に表示しなが
ら運転している時。
本体内部に設置されている水流セン
サーに汚れなどが付いて作動しなく
なっている。

[運転ボタン] を押して、運転を停止させ、3秒後に再
度 [運転ボタン] を押して運転を再開してください。
(これを2回繰り返す) ポンプの水流によって汚れが
とれることがあります。これにより、湯温表示に戻
れば問題ありませんが、頻繁に **E0** が発生するよう
であれば本体内の洗浄を行ってください。それでも、
点滅が継続するようであれば、販売店にご連絡く
ださい。

(2) **E0** のみが点滅し、運転が停止して
いる時。

本体内部が熱くなっていますので、[運転ボタン] を押
して、運転を停止させ、しばらく放置してください。
その後、ヒーターに付着している汚れを除去するた
め、本体内部の洗浄を行ってください。(P.26参照)
それでも点滅が継続するようであれば、販売店にご
連絡ください。

Q9. 温度表示部が **Ad** の表示で
点滅する

水質により電解水素浴時に所定の電流が流れて
ない場合 **Ad** と表示します。**Ad** 表示が出た場合
は、食塩を小さじ一杯程度、浴水に投入してくだ
さい。(P.16参照)
電解水素浴の使用回数、水質などにもよりますが
頻繁に **Ad** 表示が出たり、食塩を投入しても **Ad**
表示が消えない場合は電極の寿命です。
販売店に電極の交換をご依頼ください。
電解水素浴に使用する電極は消耗品です。

Q10. 自動電解水素浴または熱洗浄
の自動開始時刻がずれてきた

内蔵時計の性質上、日を重ねるごとに少しずつ自動
開始時刻がずれていきます。また、停電やメンテナ
ンス等により、本体への通電が遮断されたときも自動開
始時刻がずれますので、ずれが気になったときは各
機能の自動開始時刻を再設定してください。

◆ 異常表示と処置方法

温度表示部に下記の異常表示が出たときは、異常の発生が考えられますので、下記の処置を行ってください。処置後、なお異常表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

表示例	原因	処置方法	頁
E0	本体、ホースの目づまり	本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄を行ってください。	26,33
E1	水温センサーの故障	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。	
E2	追いだき、その他による浴水の温度上昇(水温センサー[47℃]の作動)	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、[運転ボタン]押しして本体を停止させ、しばらくして再度押ししてください。	
E3	むかえ水不足 本体内空気吸入	再度むかえ水を行ってください。 (むかえ水を長めに行ってください)	12,13
	トップフィルターの目づまり	トップフィルターの洗浄を行い、[運転ボタン]を押して運転を再開してください。	21
	ろ材、本体、ホースの目づまり	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行ってください。	22,26
E4	ヒーターの空だき (ヒーターの空だき防止装置の作動)	販売店にご連絡ください。	
E5	ろ材の目づまり	ろ材を手洗浄してください。	22
	バスケットのセットの不良	バスケットをセットし直してください。	24
E6	浴水の温度上昇 (過昇保護[53℃]で作動)	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。	
E7	切換弁の故障		
E8	コントロールボックスの故障		
E9	熱洗浄時の異常		
CC ※1	電解水素浴時の異常 (水質の変化)	浴水を入れ替えてください。 「CC」表示が消えない場合は、販売店に連絡してください。	16
	本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄中(電解水素浴時)の異常	水素ボタンを押して電解水素浴を終了させ、[運転ボタン]を押して運転を停止、再度[運転ボタン]を押し、運転を再開してください。	
Ad ※2	電解質不足 / 電極寿命	「Ad」点滅表示中に食塩を小さじ一杯、浴水へ投入し10分程度様子を見てください。改善しない場合は、電極の寿命です。販売店に連絡して電極交換を依頼してください。	16
表示なし	運転ボタンが押されていない	[運転ボタン]を押してください。運転ランプが点灯します。	
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。	
	家庭用配電盤のブレーカーが作動した	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。	
	傾斜センサーの作動 (漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯)	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの[リセットボタン]を押してください。運転が継続すれば問題ありません。 (注：運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので、販売店へご連絡ください)	

※1：「CC」は温度と交互に表示する場合があります。
※2：「Ad」は温度と交互に表示する場合があります。

交換表示の場合は、運転停止、運転再開で表示が一度消灯しますが、次回の水素浴時に再度発生しますので上記の処置を行ってください。

7

仕様

型式	CKE-320LTH	
本体設置場所	浴室内	
本体外形寸法	高さ533×幅500×奥行175 mm	
本体質量	約18 kg (ろ材を含む)	
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50 / 60 Hz	
定格消費電力	100W	
ヒーター消費電力	750W	
最大消費電力	850W	
制菌システム	紫外線式 (6W)	
	光触媒	
	高温加熱式	
浄化システム	生物浄化	
ろ材の洗浄方法	熱洗浄時自動洗浄	
水質 (当社規定条件にて) ※1	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25 ppm以下
	大腸菌群	1個以下/ml
	レジオネラ属菌	100 CFU未満/ 100 ml
対応のべ入浴人数	7人以下/日	
対応浴槽容量	400リットル浴槽(湯量320リットル)まで	
お手入れの方法	取扱説明書P.20参照	
消耗品	トップフィルター	6か月または破損時に交換
	ろ材	減少したら補充・交換
	紫外線ランプ	1年に1回交換/グロー球も同時交換
	電極	1年に1回交換/1日2回電解した場合 ※2
温度表示	デジタル表示	
温度調節範囲	35～45℃(設定1℃毎)、OFF	
循環水量調節	2段階切替方式(標準、ジェット)	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポンプ空運転防止装置(水流センサー) ◆浴水温度過昇防止装置(過昇保護センサー) ◆温度制御装置(水温センサー)の断線検知 ◆転倒時電流遮断装置(傾斜センサー) ◆過電流保護装置(管ヒューズ15A) ◆温度ヒューズ(130℃) ◆漏電保護装置(漏電保護プラグ、感度電流 6 mA) ◆自動洗浄ロック検知 	
操作パネルコード	2m	
電源コード	7m	

※1：当社規定条件とは、取扱説明書にしたがったお手入れを行った上で、最終入浴者入浴後8時間以上経過後の浴槽水を測定したものです。

※2：水質により交換時期が変わる場合があります。

8

アフターサービスについて

◆保証書について

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、お買い上げ時に販売店・工事店が所定事項を記入しお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

◆保証について

保証期間はお買い上げ日から1年間です。(消耗品は保証対象外です)
ただし、1年以内でも洗浄メンテナンスは有料で承ります。
その他、詳細は保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

◆補修用性能部品について

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。
性能部品とは、製品の機能を維持するのに必要な部品のことです。

◆修理を依頼されるときは

「浴水が濁ったり、臭いがあるとき」(P.31参照)「故障かなと思ったとき」(P.32参照)または「異常表示と処置方法」(P.34参照)をよくご覧の上、再度お調べください。それでも改善されない場合は漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご依頼ください。

◆トップフィルターなどのご購入について

トップフィルター、紫外線ランプなどのご購入については、本体をお買い上げの販売店へお問い合わせください。電解水素浴用電極交換も、本体をお買い上げの販売店へご依頼ください。

◆アフターサービス、またはお手入れでお困りのときは

その他アフターサービスについてのご不明な点やお手入れでお困りのときは、販売店へご相談ください。
お手入れについては、有料でメンテナンスを承ります。



設置日	年	月	日	製造番号
-----	---	---	---	------

販売店名	取付工事者
住所・電話番号等	住所・電話番号等

 **コロナ工業株式会社**

〒776-8555

徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1

TEL : 0883-24-1155

FAX : 0883-24-8506

HTTP://www.corona-net.com/